

■ 第12回みなとまちづくり研究会が苫小牧市で開催されました!!

北海道開発局港湾計画課

平成25年7月12日（金）に、苫小牧市のグランドホテルニュー王子において、「第12回みなとまちづくり研究会 in 苫小牧」が、（一社）ウォーターフロント協会主催、北海道みなとオアシス活性化協議会（「北海道みなとオアシス」の各運営協議会、NPO法人北海道みなとの文化振興機構、（一社）寒地港湾技術研究センター、北海道開発局）共催により開催されました。

みなとまちづくり研究会は、みなとまちづくりに取り組んでいる方々の意見・情報交換の場として、平成20年度から年1～2回の頻度で全国各地において開催されており北海道での開催は今回初めてとなります。

研究会では、講師に林美香子教授（慶応義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科特任教授／北海道大学大学院農学研究院客員教授）をお招きし、「港とまちづくり」をテーマにご講演をいただきました。

林講師からは、横浜港などの事例を用いた「行政と民間が連携した地域の独自性を生かしたまちづくりの必要性」についての問題提起や、「観光客に港の歴史などを紹介する港のサポーター組織をつくってはどうか」といった、今後のみなとまちづくりの活性化に向けてのご提案がありました。

また、講演に引き続き、北海道開発局港湾空港部港湾計画課の眞田課長がコーディネーターとなり、林講師を囲んでのみなとの賑わい創出の方策などについての活発なディスカッションが行われました。

本研究会には、全国のみなとまちづくりマイスターの方々や、翌日の7月13日（土）、14日（日）に苫小牧港で開催された「第3回Sea級グルメ全国大会 in 苫小牧」の出店者等も参加され、約130名による盛況な意見交換を行うことができました。



林講師による基調講演



林講師（左）、岩倉苫小牧市長（中）、竹田大臣官房審議官



研究会会場の様子



ディスカッションの様子

（一社）ウォーターフロント協会のHPにおいて林講師の講演内容が公開されています

<http://www.waterfront.or.jp/machidukuri/machidukuri/12hayashi.pdf>